



## 地域に根差した病院づくり



真星病院は、半世紀にわたって地域の方々の暮らしに寄り添い、地域に根差した病院として人々の健康的な生活を支えている病院です。急性期病棟、療養型病棟、リハビリテーションが併設されているケアミックス病院であり、子供から高齢者まで幅広い患者の方々を受け入れ、患者それぞれに治療段階に合わせた最適な医療を提供されています。さらに救急や在宅医療にも取り組まれ、真星病院だからこそできるあたたかな医療と介護を提供し、安心して暮らせる地域の実現に貢献されています。

病床数	156 床 一般病床 66 床（地域包括ケア病床 26 床） 療養病床 90 床 まほし介護医療院 18 床
診療科目	内科、外科、眼科、糖尿病内科、小児科、整形外科、消化器内科・外科、循環器内科・外科、呼吸器内科、泌尿器科、老年内科、胃腸内科、肛門外科、人工透析内科、リウマチ科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
特殊診療機能	糖尿病センター、腎・透析センター、デイケア、眼（アイ）センター、健康管理センター（人間ドック）

私たちは、神戸学院大学の栄養学部で、将来、病院の管理栄養士として地域の方々に貢献することを目標に学んでいます。真星病院というとても近い距離の病院で活躍されている管理栄養士の先生方に、病院で働くことの魅力や、真星病院の働きやすい環境づくりの取り組みなどについてお話を伺いました。

## 女性にとって働きやすい環境

### ～ 男女が働きやすい職場づくり ～

医療法人社団まほし会真星病院は2015年、神戸市の「こうべ男女いきいき事業所」に選ばれています。真星病院の従業員は、女性が全体の約8割を占めており、職員のための保育所の設置や時短勤務などの制度が充実しています。院内に365日24時間対応の保育所があり、お昼休みなどに簡単に子供の様子を見に行くこともできるので、安心して仕事をすることができるとお聞きしました。安心して仕事に取り組むことができる環境は、職員の心の余裕につながり、丁寧で親身な医療や介護の提供につながると思います。さらにこのような制度を利用しやすい環境を実現するために、長期計画で採用人事を行うなど組織としての配慮がなされています。そのためこのような制度を利用することは特別なことではないという雰囲気がすでにあり、男女を問わず制度を利用しながら、職員同士が子育てや家族の介護などの大変さを互いに理解し助けあうことが当たり前になっている職場なのだと感じました。女性にとっても男性にとっても働きやすく、仕事と家庭を両立しやすい環境になっています。

### ～ アットホームな雰囲気づくり ～

職員同士のつながりを大切にされている職場で、トップダウンだけではなく新人や役職のない職員全員の意見を聞き、良いものは採用し、全員でより良い病院を作り上げていくことを実践されていました。全職員の意見を集めるために、役職のない職員だけで構成される会議を定期的で開催されていました。この会議では日常業務に活かすことのできる意見が職種を超えて活発に話し合われ、これは風通しの良い職場作りに活かされていました。



【管理栄養士、理学療法士の先生からお話を伺う】

また、ボウリング大会など職員同士のクラブ活動も活発に行われており、アットホームな雰囲気で働きやすい病院であるとのお話をいただきました。このような取り組みによ

り、自然に他の部署の職員とも顔見知りになり話をするようになるので、より多職種連携が密になり、患者サービスにも良い影響があると思いました。

## ～ 専門職として協働するために ～

今回お話を伺ったのは、栄養科主任の管理栄養士の先生と、若手の管理栄養士の先生、そして診療技術部部長の理学療法士の先生でした。先生方は明るく凛とされており、「この先生になら話してみよう」、「相談してみよう」と思える雰囲気を作ってくださいました。お話の中で、理学療法士の先生が、若手の管理栄養士の先生の日々の働き方や苦勞、努力について細かく理解されていたことに驚きました。職種が異なるとなかなか互いに理解することは難しいと思っていたからです。病院ではどうしても管理栄養士は少数派だと思うので、将来自分が病院で働くことを考えたときに、他の職種と上手く連携できるか不安でした。しかし今回、真星病院の皆様がお互いの専門性を尊重しながら助け合っている様子を拝見して、このような病院で働きたいと強く思いました。また、若手の管理栄養士の先生が頑張っって専門職として学び続けておられる姿と、それを応援している先輩の管理栄養士の先生との信頼関係を感じて、とてもうらやましく思いました。将来、管理栄養士として働き始めたあとも、専門職として学び続け、職種を超えて認め合っって共に働くこと、「この人になら話してみよう」と思っただけのような人柄が、適切な医療の提供につながるのだということ学びました。そのような管理栄養士になるために頑張りたいと思います。

## あたたかい医療の提供



【たくさんの質問にお答えいただきました】

医療や介護の提供につながるのだと感じました。

今回、お忙しいお仕事の中お時間をいただき、様々なお話を伺う機会をいただきありがとうございました。いずれも生き生きと働かれている女性の先生方にお話をうかがったことで、病院で専門職として自分らしく働くために、自分自身がどうあるべきか、働く環境をどのように整えそれを継続していくのか、自分のライフプランを具体的に考える良い機会となりました。年齢も近い若い管理栄養士と経験豊かな管理栄養士の先生、さらに、病院におけるコメディカル部門の長である理学療法士の先生にお話をお伺いしましたが、先生方は私たちの質問にも丁寧に優しくわかりやすくお答えくださり、人を大切にする気持ちが根底にあって、将来の目的に向かって頑張っている若い職員を応援したり、困っている患者の方々や同僚を助ける空気を肌で感じました。職場は人と人とがつながって作り上げていくものだと思います。このような人に対して優しいあたたかい雰囲気づくりを職場内で継続してこられたことが、地域での信頼や将来につながっているのだと思いました。

(藤原紗枝, 森川真帆, 竹村歩, 柳川雅, 藤本梨奈)

(神戸学院大学栄養学部太田淳子ゼミほか、4年次生)